株式会社タムラ製作所

2005年3月期　中間決算概要

2004年11月16日

目次

１．2005年3月期中間決算概要

２．2005年3月期通期業績予想

３．今後の事業戦略

1. 2005年3月期中間決算概要

ハイライト（要約損益計算書）

	03/9	04/9	対前年同期比較	
			増減	率
売上高	37,233	38,031	797	2.1%
営業利益	1,629	1,581	−47	−2.9%
営業外損益	−486	20	506	―
経常利益	1,143	1,601	458	40.1%
特別損益	−935	−384	551	―
税引前利益	208	1,217	1,009	485.1%
中間純利益	453	467	13	3.0%

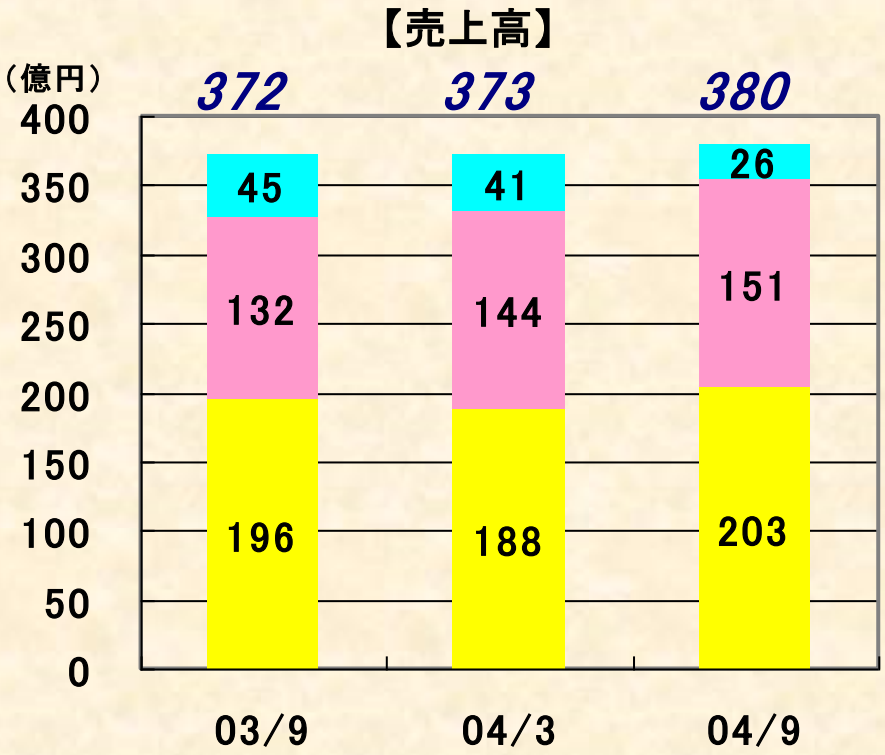
- 売上高は、商品価格低下などの逆風下だが増収
- 構造改革や効率化推進及び為替の円安傾向などもあり、経常利益、税引前利益は大幅に増益
- 原油価格や銅・鉄類などの素材価格の高騰の影響もあり営業利益は、若干の減益

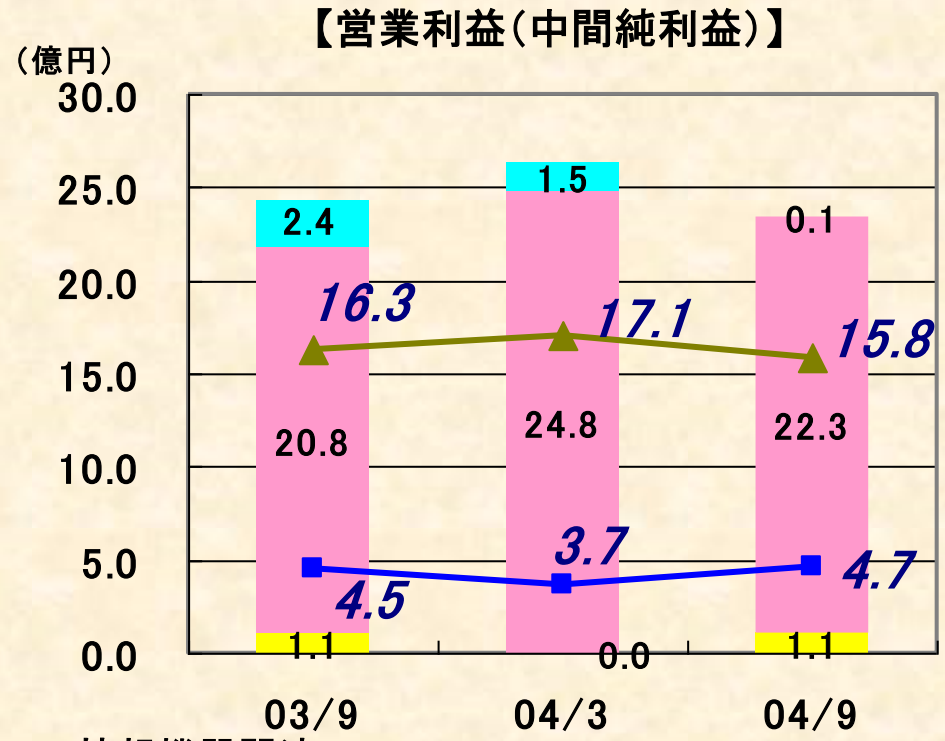
04/09　期中平均実績為替レート　：　109円80銭

04/09　期中平均社内為替レート　：　105円82銭

事業部門別の売上高・利益推移

電子化学材料・はんだ付装置事業が堅調に売上拡大・利益も牽引するが
素材価格の高騰や商品価格の下落もあり、営業利益は減少

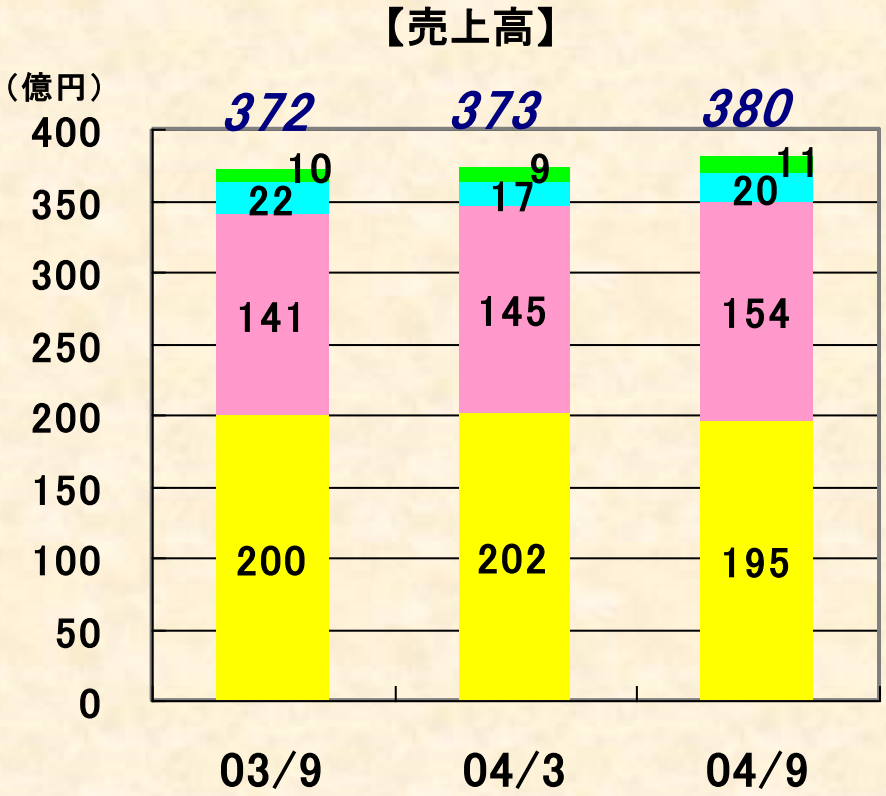


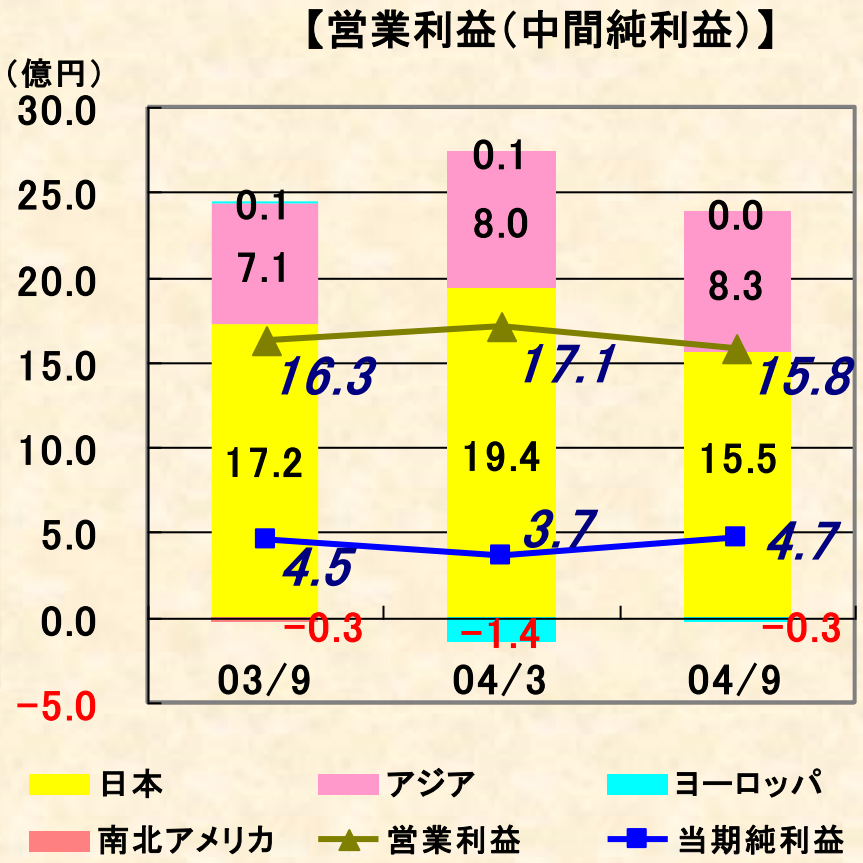


情報機器関連
電子化学材料・はんだ付装置関連
電子部品関連
中間純利益
営業利益

地域別の売上高・利益推移

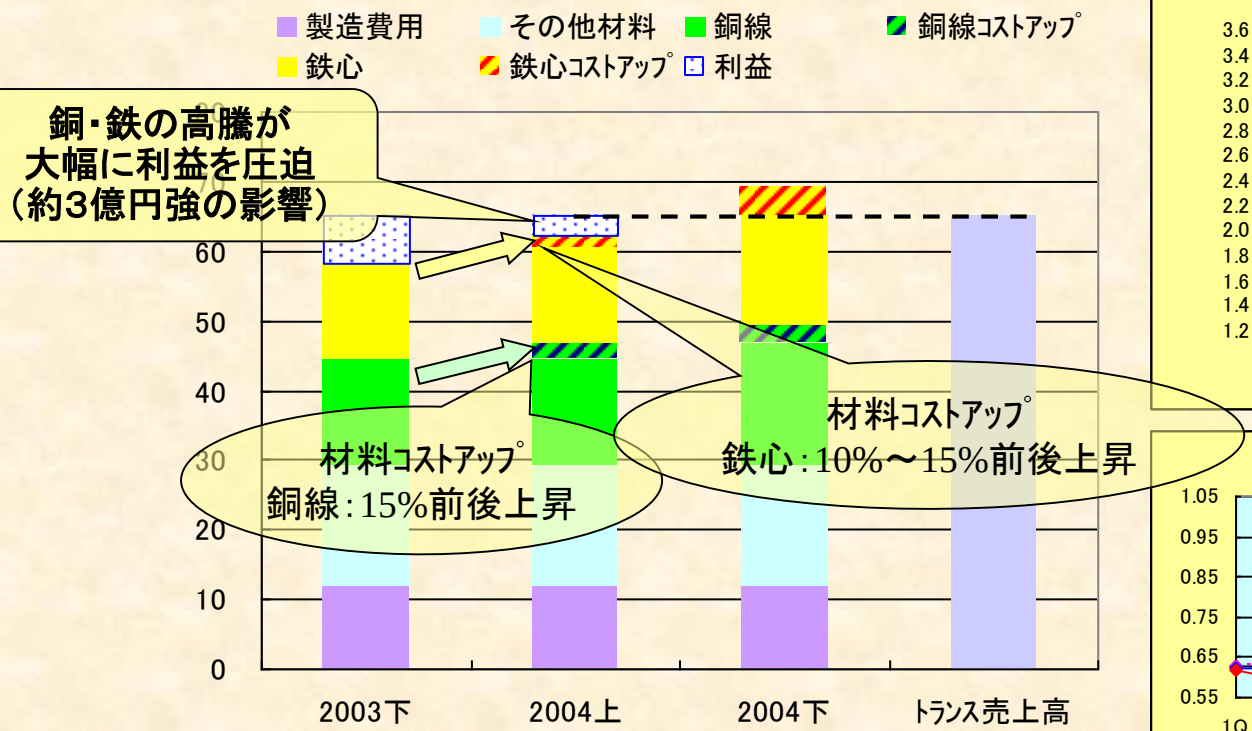
引き続き、中国を中心にアジアが堅調に増収・増益



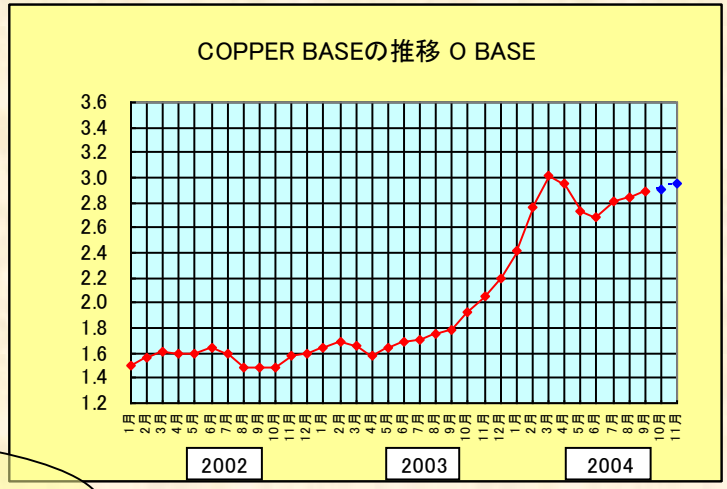


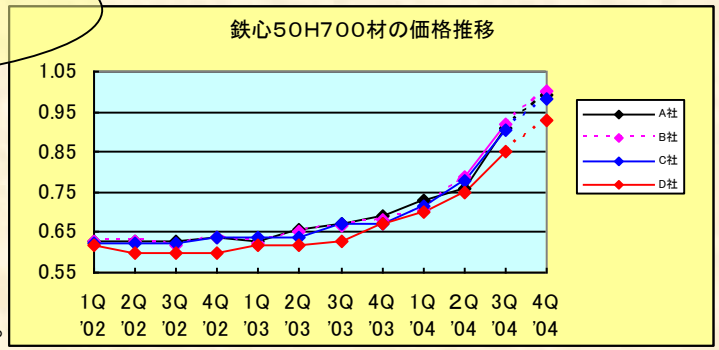
原材料価格高騰による影響

例）電子部品：ﾄﾗﾝｽ製品関連



注）原材料高騰をわかりやすく示すため、売上金額を同等として比較してます。

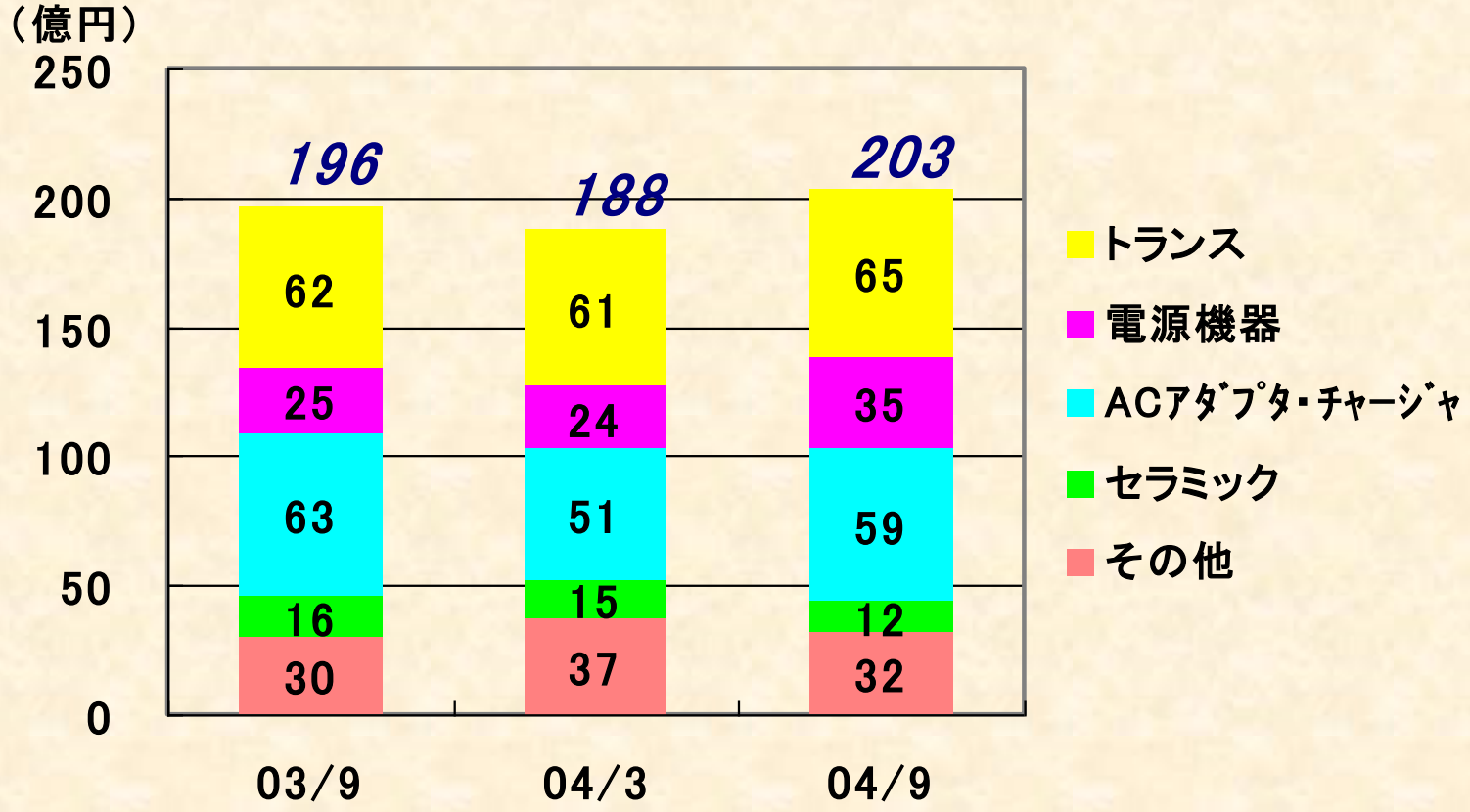




- 新規設計品投入による転換
- 不採算ｱｲﾃﾑについては縮小、撤退
- 原材料高騰に見合ったﾌﾟﾗｲｽｱｯﾌﾟ交渉の推進
- 他材料のｺｽﾄﾀﾞｳﾝ、製造費用の削減

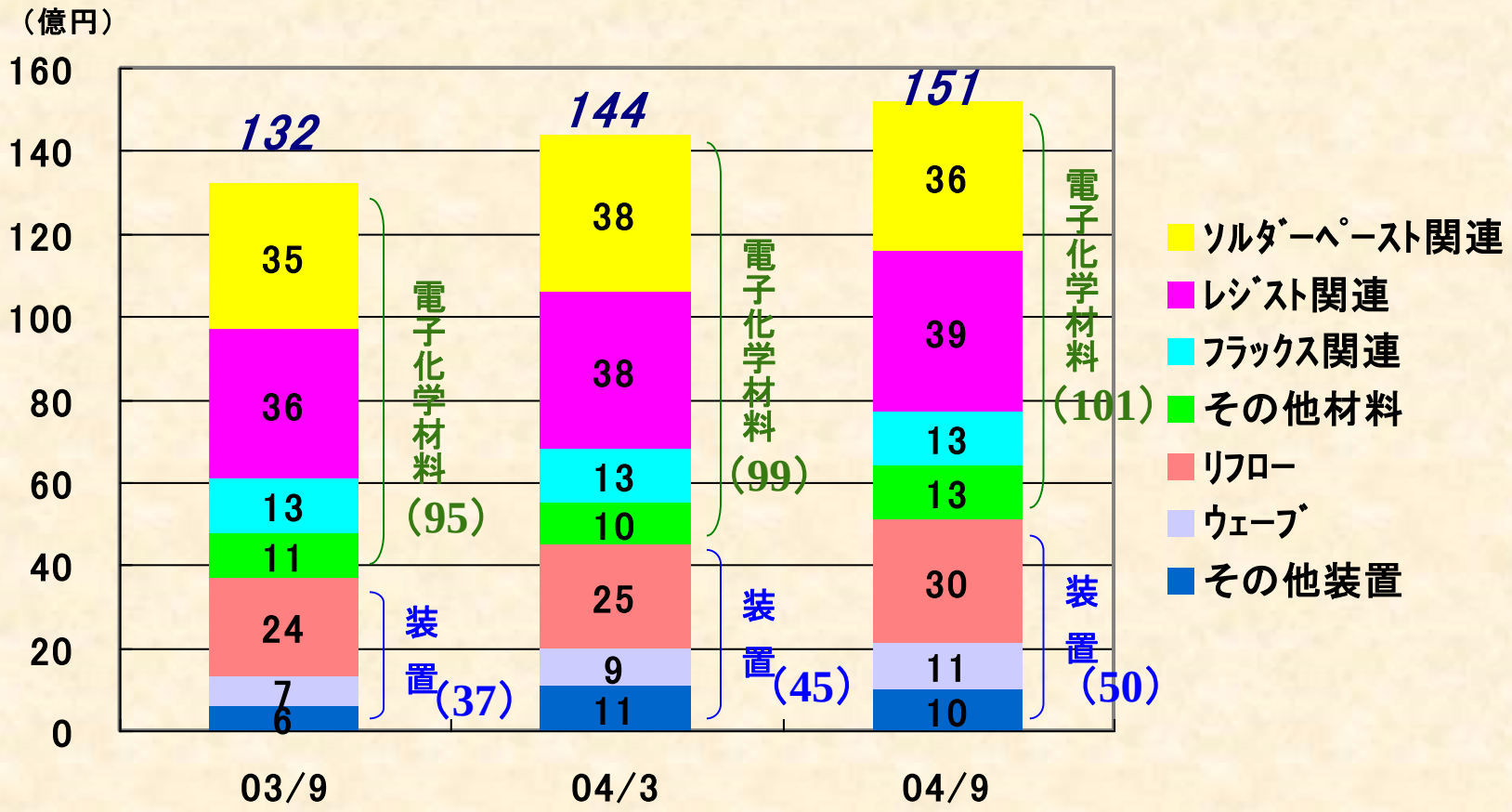
電子部品事業の売上高推移

デジタルAV、産業機器向け部品は堅調だが
携帯電話やﾃﾞｼﾞﾀﾙ･ｽﾁﾙ･ｶﾒﾗなどの市場環境の減速や
商品価格の下落などの影響で売上微増



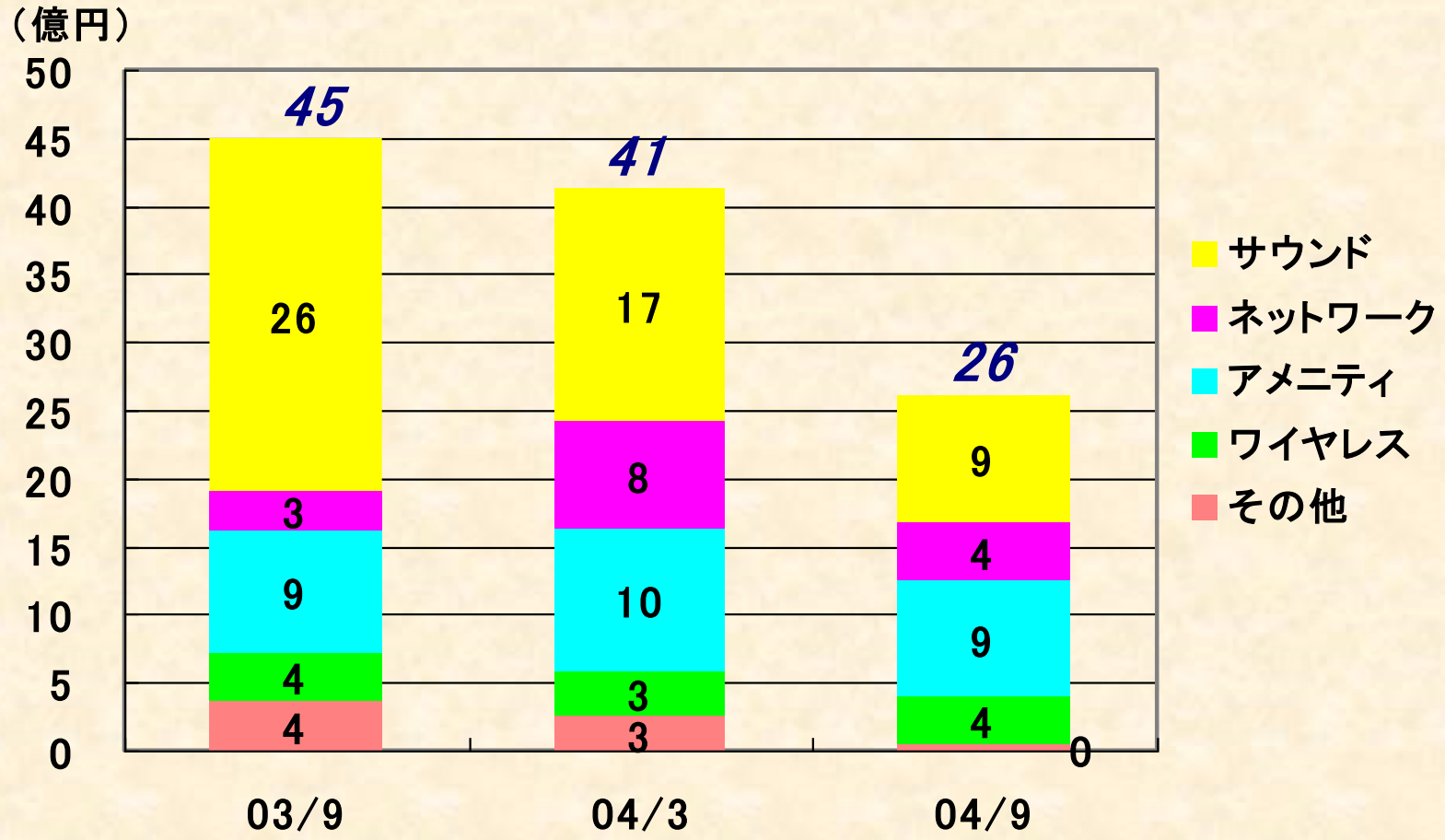
電子化学材料・はんだ付装置事業の売上高推移

鉛フリーなど環境対応の需要増大に伴い、
はんだ付装置を中心に引き続き好調に推移



情報機器事業の売上高推移

放送関連設備のデジタル化の動きが地方局へシフトしつつあるものの需要の端境期を迎え、大幅な減収



要約貸借対照表

総資産を圧縮、健全化を推進

単位：百万円

	03/9	04/3	04/9	対前年同期増減
流動資産	52,986	49,174	50,937	−2,048
（現預金）	10,771	11,860	9,400	−1,371
（売上債権）	28,270	24,659	26,118	−2,151
（棚卸資産）	10,619	9,925	12,981	2,361
固定資産	27,756	26,838	28,005	249
（有形固定資産）	17,741	16,762	16,642	−1,098
（無形固定資産）	1,477	1,800	1,941	464
（投資、その他）	8,536	8,275	9,420	883
資産合計	80,742	76,013	78,942	−1,799
流動負債	26,662	21,255	25,491	−1,170
（仕入債務）	12,253	10,736	12,005	−248
固定負債	15,169	15,725	14,443	−725
（有利子負債）	21,440	18,996	20,198	−1,242
負債計	41,831	36,981	39,935	−1,896
資本計	38,761	38,895	38,850	89
負債・少数株主持分・資本計	80,742	76,013	78,942	−1,799

- 受注増＋新ERPシステムの導入
  過渡期で在庫を積み増し
- 有利子負債を削減

要約キャッシュフロー

TAMURA

フリーキャッシュ・フローは減少したが将来に結びつく支出で

財務体質は健全を維持

単位：百万円

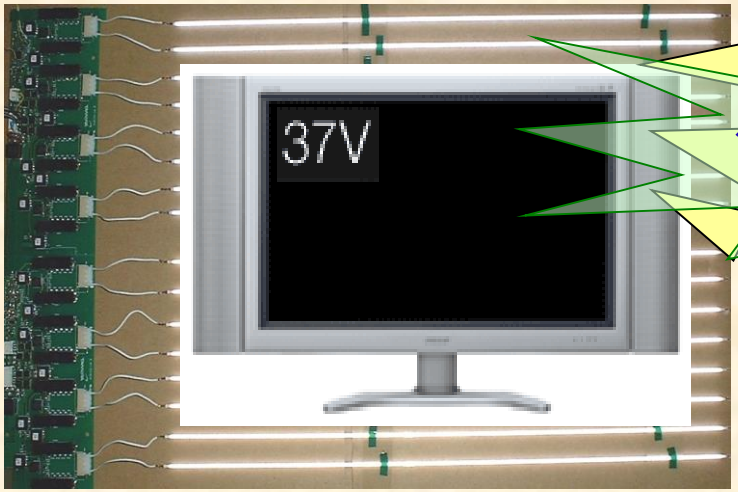
	03/9	04/9	増減	コメント
営業活動による キャッシュフロー	−701	−1,002	−300	在庫増加で営業CFはマイナス
投資活動による キャッシュフロー	−863	−2,396	−1,533	関係会社の資本を増強
フリーキャッシュフロー	−1,564	−3,398	−1,833	
財務活動による キャッシュフロー	997	789	−208	
キャッシュの増減	−554	−2,569	−2,015	
キャッシュの残高	10,716	9,213	−1,502	キャッシュ手持ちは1.5ヶ月分

トピックスI

電子部品事業

・液晶TVをはじめとする液晶市場に戦略ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（液晶PJ）体制を整え、拡販活動を積極推進

実績例）・液晶TV用圧電ｲﾝﾊﾞｰﾀ　20ｲﾝﾁ以下　2社納入
20ｲﾝﾁ以上　1社納入
・液晶TV用ｱﾀﾞﾌﾟﾀ　20ｲﾝﾁ以下　2社納入



小型・薄型、高効率、安全性でユーザーニーズに貢献

液晶TV向け
アダプタ

液晶TV向け圧電インバータ

超小型電源ﾓｼﾞｭｰﾙ：REGMIX

トピックスII

電子化学材料・はんだ付装置事業

・はんだ付装置事業の事業範囲拡大、新規市場参入開始

①はんだ付け前工程装置：ﾍﾟｰｽﾄ印刷機の販売を開始

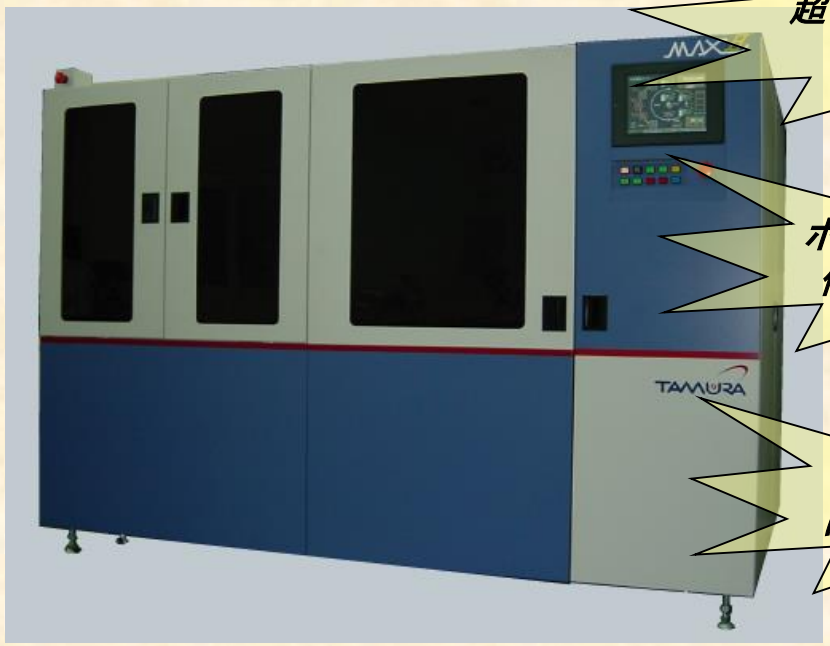
②鉛ﾌﾘｰはんだﾊﾞﾝﾌﾟ形成装置完成による半導体市場参入

スピードライン社製

実装用ﾍﾟｰｽﾄ印刷機　MPM AccuFLex

次世代高性能半導体向け

鉛フリー対応はんだバンプ形成装置



超ファインピッチを実現
50μm ～120μm

ボイドフリーを実現し
信頼性を大幅向上

超ファインピッチ
はんだ材料も開発

トピックスIII

情報機器事業

・次世代VoIP要素技術「広帯域Speech CODEC」の開発に成功し、“IP音声会議端末”を発表。
ネットワーク機器の新領域へ展開。2005年1月より販売開始。

インターネット・プロトコル（IP）音声会議端末

2. 2005年3月期通期業績予想

ハイライト（損益見通し）

TAMURA

3期目の増収・増益を目指す

	04/3	05/3	対前期比較	
			増減	率
売上高	74,539	76,000	1,461	2.0%
営業利益	3,338	3,400	62	1.9%
経常利益	2,157	2,600	443	20.5%
当期純利益	822	850	28	3.4%

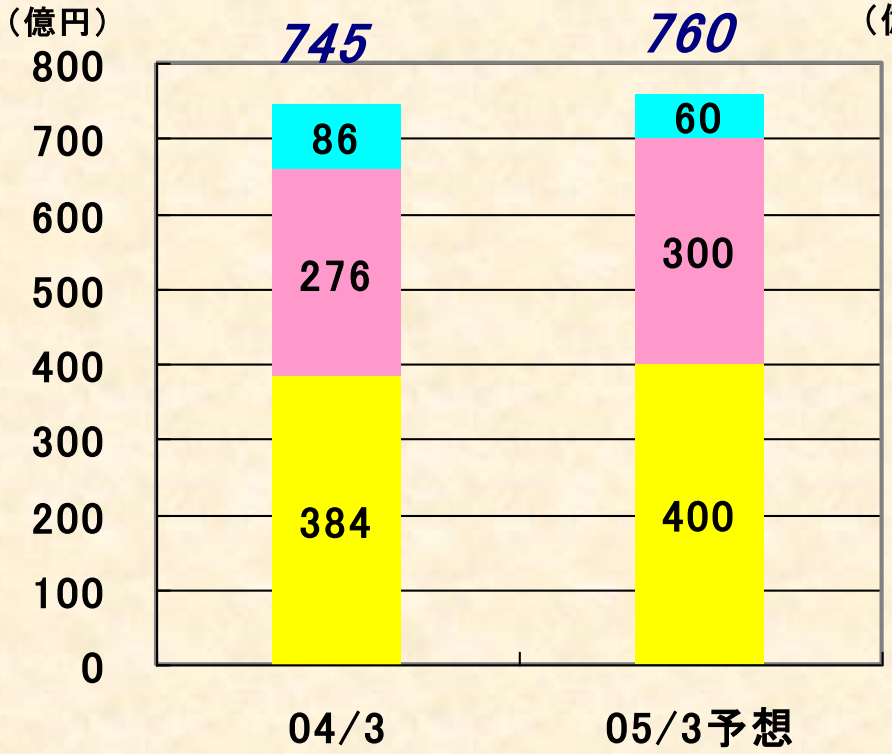
06/3　平均為替レート　：　105円

事業部門別の売上高・利益の見通し

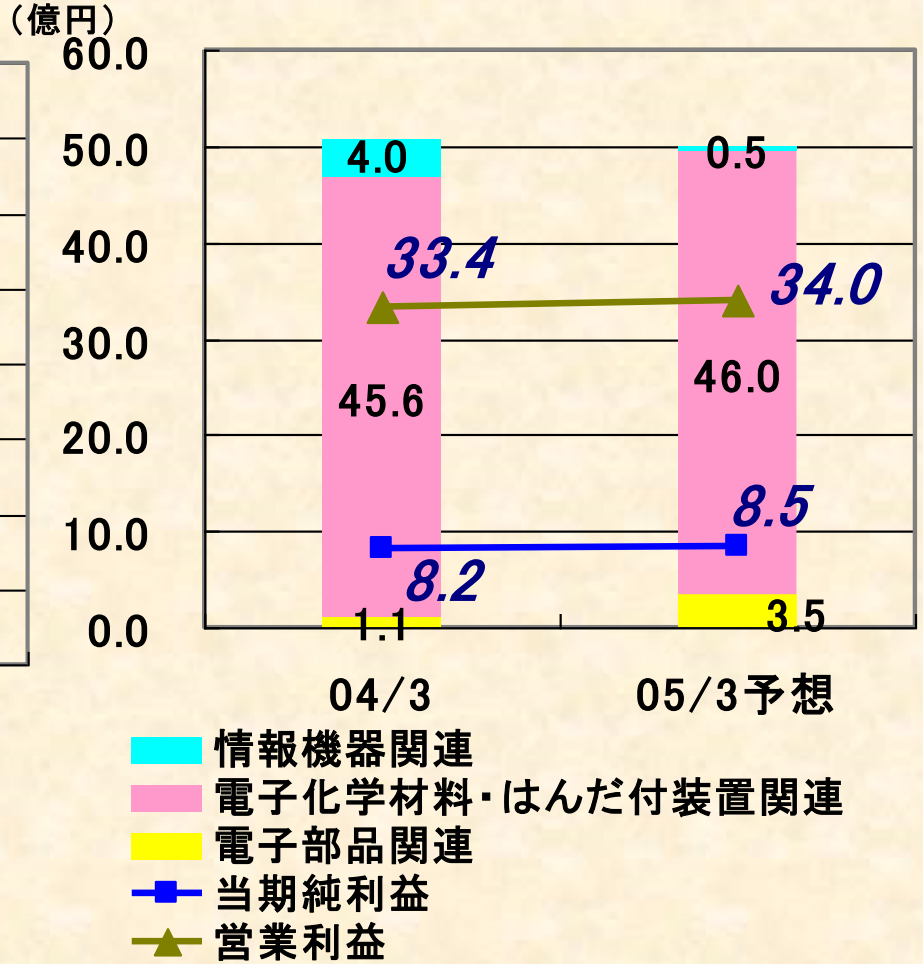
TAMURA

電子化学材料・はんだ付装置事業が利益を牽引、電子部品は収益向上

【売上高】



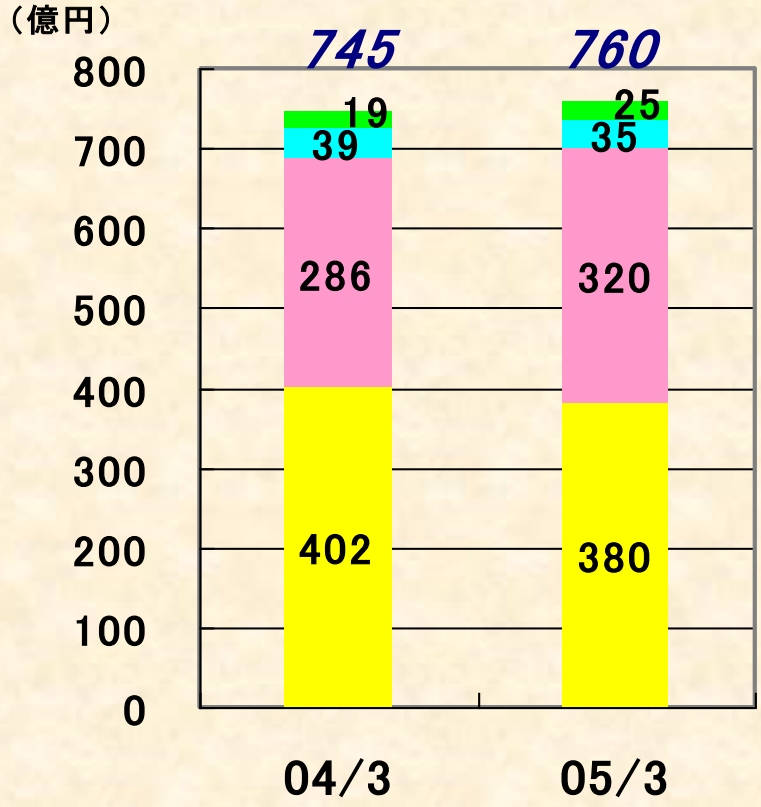
【営業利益（当期純利益）】



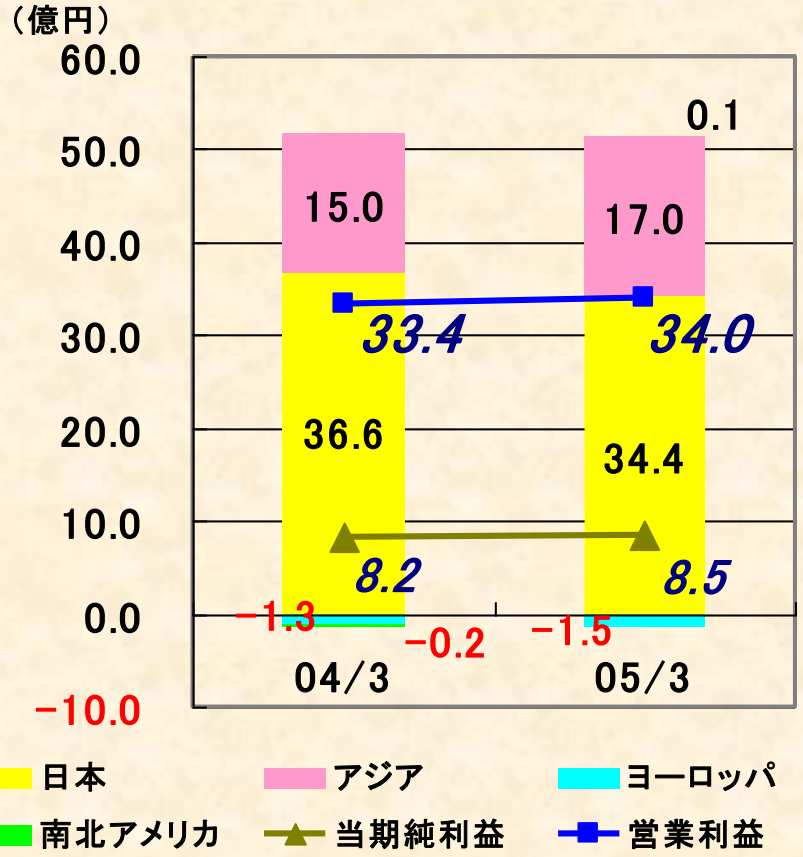
地域別の売上高・利益の見通し

引き続き、アジアが好調で中国エリアが牽引役

【売上高】

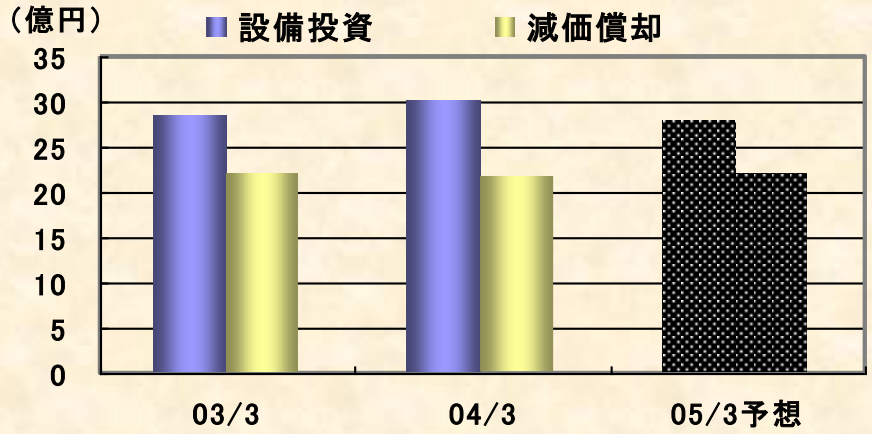


【営業利益（当期純利益）】



設備・研究開発投資の状況

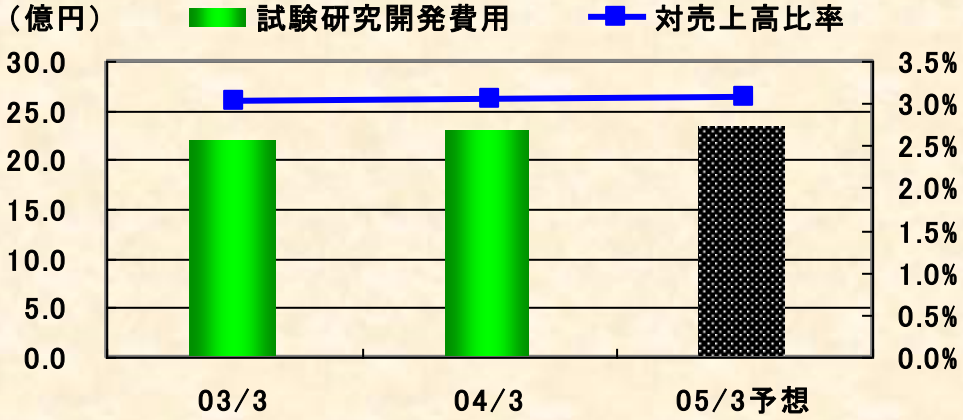
■ 設備投資・減価償却費



・設備投資は、ERPへの大口投資終了で減少。

・減価償却は概ね予定通りに推移

■ 研究開発関連費用



・選択と集中による開発の効率推進

- ・地方局展開向けﾃﾞｼﾞﾀﾙ音声機器
- ・通信事業者向け監視装置
- ・磁性材料の新素材開発
- ・ｾﾗﾐｯｸ事業の新市場向け材料、製品
- ・車載向け電子部品
- ・鉛ﾌﾘｰをはじめとする各種の環境 対応材料・装置の開発
- ・半導体市場向け装置

3. 今後の事業戦略

非連続発想による経営推進

TAMURA

Only One

「非連続発想」で

既存事業競争力の強化

新規事業の創出

真のグローバル企業へ

従来とは違う手法による構造改革

◈ﾊﾞﾗﾝｽ・ｽｺｱｶｰﾄﾞ経営手法の浸透による
ﾊﾞﾗﾝｽ経営の実現

◈MAPS(ﾀﾑﾗERPｼｽﾃﾑ)の早期立ち上げと
有効活用によるｽﾋﾟｰﾄﾞ経営の実現

◈事業ｾｸﾞﾒﾝﾄを横断する改革

◈新規市場への積極展開　　など

加速

実現

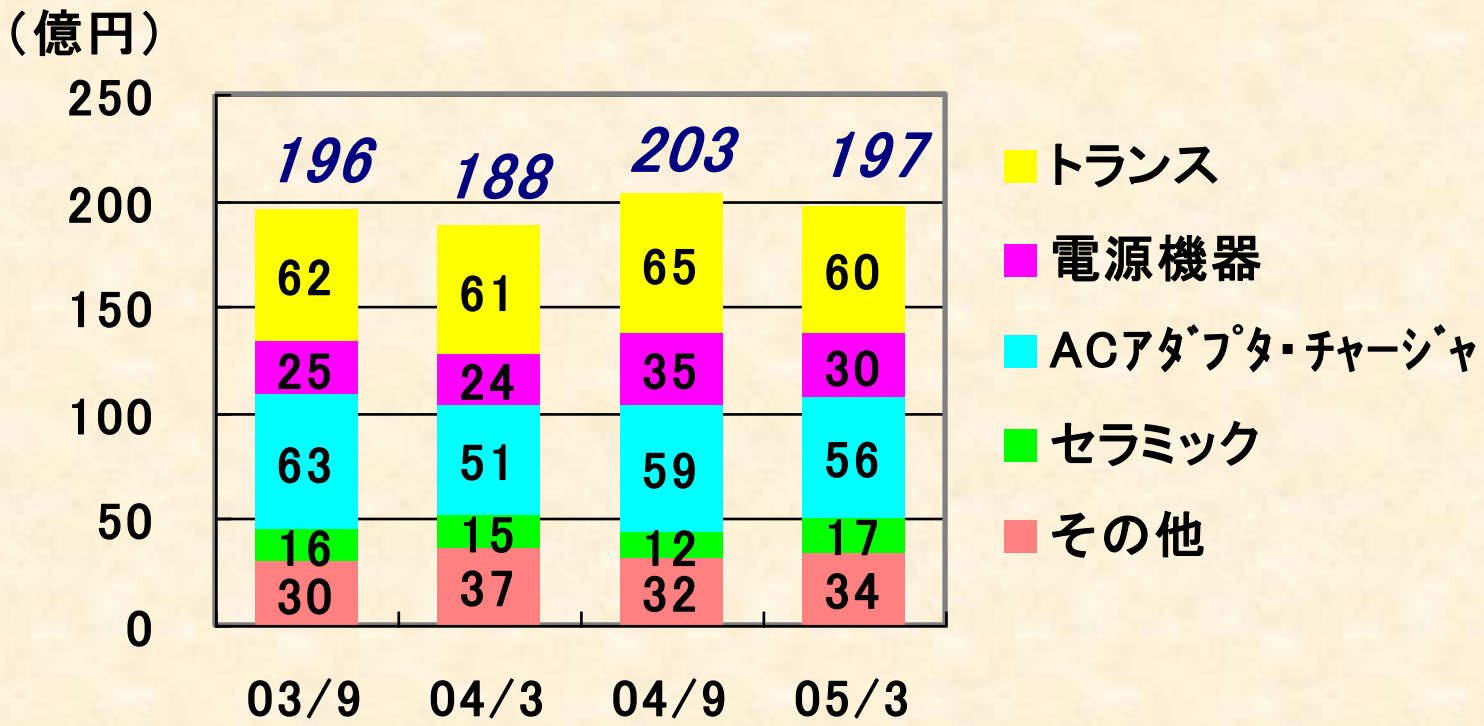
目標よりも常に一歩上を

中期計画"Ambitious 11"

事業戦略(1)

電子部品事業

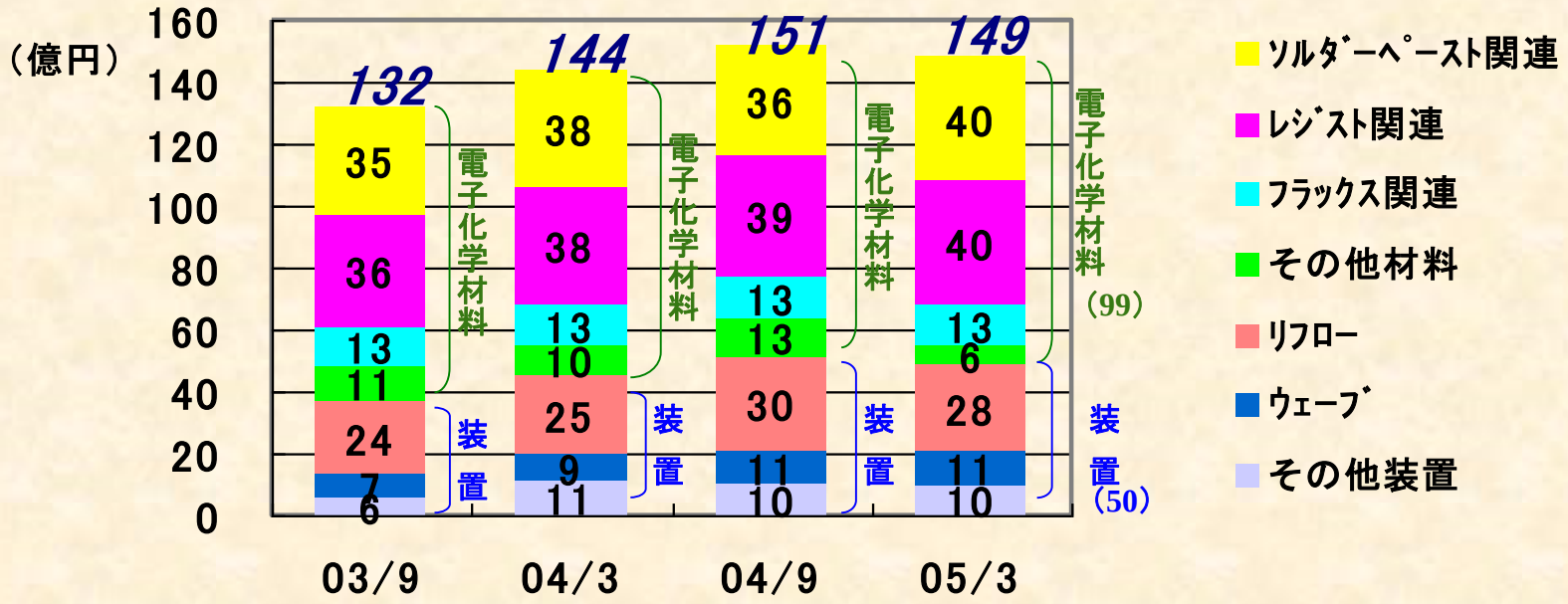
- 戦略市場、成長市場へ向け体制強化による開発、拡販の推進
- 戦略事業であるｾﾗﾐｯｸ事業の強化、拡大
- 収益構造の強化へ向けた構造改革の推進



事業戦略(2)

電子化学材料・はんだ付装置事業

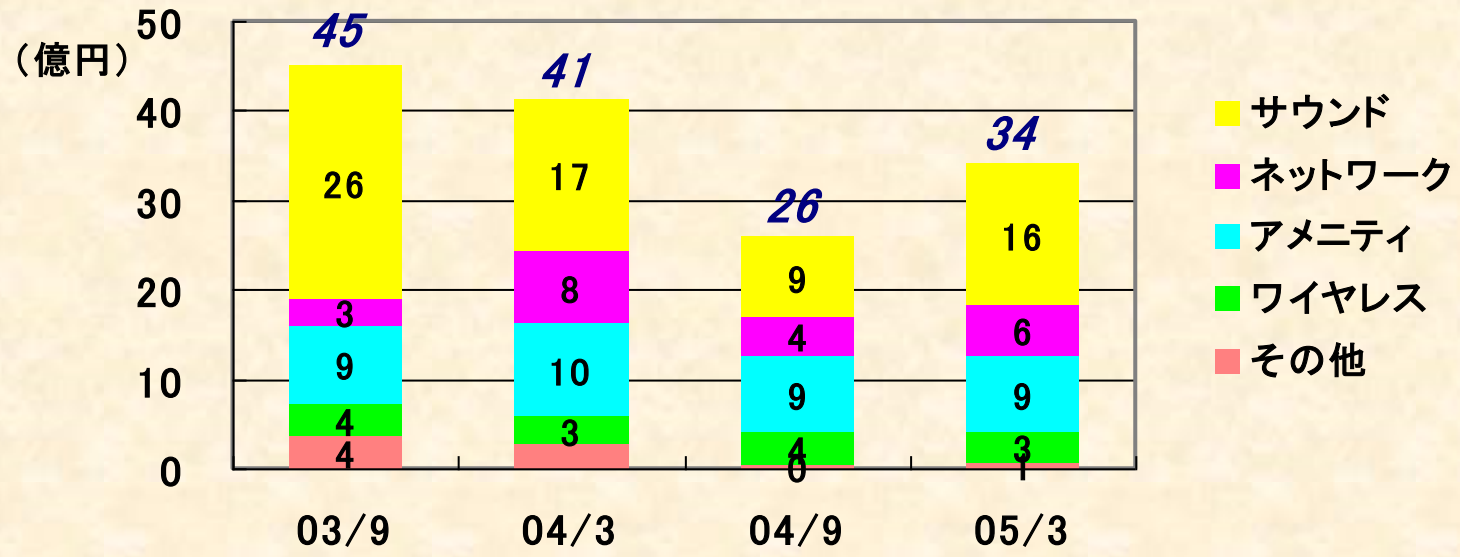
- 新規参入の半導体市場へ積極的な新製品投入
- ｱｼﾞｱを中心としたｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ展開推進による拡販
- 材料、装置の連携強化による鉛ﾌﾘｰ・ﾄｰﾀﾙ・ｿﾘｭｰｼｮﾝ展開の推進による拡販
- 新規材料(導電性接着剤、層間絶縁材)の積極拡販



事業戦略(3)

情報機器事業

- 新製品投入(AMQ5500)による今後加速する地方局ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化の囲い込み
- キー局更新需要へ向けた大型ﾐｷｼﾝｸﾞ･ｺﾝｿｰﾙの開発推進
- IP会議端末を投入によるﾈｯﾄﾜｰｸ機器の新領域へ展開
- 次世代監視ｼｽﾃﾑの導入によるﾈｯﾄﾜｰｸｲﾝﾌﾗ事業拡販



InformationI

- 80周年を記念して本社（大泉学園）敷地内に
  ｼｮｰﾙｰﾑ及び音響ｽﾀｼﾞｵを新設

2004年11月22日
Open

InformationII

- *2005年2月22日,23日　タムラフェア(プライベートショー)開催*

  場所:東京ドームシティー　プリズムホール

タムラフェア en
演 炎 縁 宴
素材からシステムまでエレクトロニクスの夢をカタチに

InformationIII

株主の皆様への利益還元

平成17年3月期期末配当金は、当社創業80周年にあたり

普通配当(3円)＋記念配当(1円) → 4円

1株当たりの年間配当金は、

中間配当金(3円)＋期末配当金(4円) → 7円

Ambitious

Tamura's Only One

TAMURA

The End